

在京(東京)端野会・

さっぽろ端野会との交流(その1)

○東京端野会の結成

学びを志し、また職を得て東京をはじめ千葉、埼玉、神奈川県内に在住する端野町出身者は、昭和四二(一九六七)年当時で一五〇名ほどいて、大きな志と夢を持ちそれぞれの道で精進されていきました。故郷を離れ生活環境の異なった地での生活は容易なものではありませんでした。

そこで、健康で着実に理想<sup>けんげん</sup>顕現<sup>まいしん</sup>に邁進されることを願い、中澤廣町長の発案で「励ます会」を、昭和四二年一月三日、東京都渋谷区千駄ヶ谷の東京青年文化会館(財団法人修養団研修所)にて開催されました。



(昭和四二年撮影)

この励ます会の開催にあたっては、事前に町内各地区の総代(現在の自治連合会長)に、それぞれの地区から東京及び千葉、埼玉、神奈川県内で学業に励まれている方や職業人として活躍されている方への調査をしていただき、「端野町出身者を励ます会」として、端野町長名で個別にご案内し、開催しました。

この励ます会には七〇名余の方々が出席され、端野町からは中澤町長、中西吉男町議会議長、安田智幸総務課長が参加し、当日は、中澤町長、中西町議会議長から、この会の開催するにあたっての考えや端野町の現況などを報告し、参加者全員の自己紹介のあと、修養団の一色純一郎氏の講演をいただき、昼食をとりながら故郷の話に花を咲かせ、また将来を語り合い楽しい一刻を過ごしました。

そして、この会の結びとして、この会を今後継続して開催することとし、この会を「東京端野会」として結成することが満場一致で決まりました。



励ます会の様子 (昭和四二年撮影)

・東京端野会の目的

本会は、会員相互の連絡、協調を密にして親睦を図り、相助け、相励まして有能な人間形成に資するとともに、常に端野町との連携を保って郷土の発展に寄与することを目的とする。

・東京端野会の事業として

- ① 会員相互連絡協調
- ② 会員相互の扶助、救済
- ③ 端野町との情報交換及び連絡、協調
- ④ 会員相互の親睦及び教育活動
- ⑤ その他目的達成のため必要な事業



「励ます会」出席者集合写真 (昭和四二年撮影)

また、役員には次の方々が選出されました。

会長	猿倉梅太郎 氏 (協和出身)
副会長	中垣欣司 氏 (三区出身)
幹事	井関保則 氏 (端野出身)
	平田英夫 氏 (三区出身)
	小野定雄 氏 (三区出身)
	浅利 寛 氏 (端野出身)
	升川洋栄 氏 (一区出身)

出身地区ごとに連絡員を置くこととしました。

・会の事務所は、平田英夫弁護士事務所に置くこととしました。

## ○毎年交流が深まる

東京端野会が結成後、毎年一回、会の総会を兼ねた「東京端野会」が開催され、端野町からは町長、町議会議長、担当者の外、端野町内の諸団体の代表者も加わり東京都内で開催されました。

端野町では「広報たんの」を会員の皆さんに事務局を通して毎月配付していましたが、端野町の一年の出来事をまとめた「ふるさと通信」を例会で配布するとともに、町政要覧を製作した年にはこれを配布しました。また、端野町のPR用映画「フロンテア・愛・端野」を製作した年には、作品を上映するとともに、端野町特産物の玉ねぎ、じゃがいもなどの「ふるさと小包」を会員の皆さんに受注していただきました。さらに、平成四（一九九二）年度から同一八年度まで、平田英夫弁護士による「無料法律相談」を年二回開設いただいたほか、平成五（一九九三）年度から平成一二年（二〇〇〇）度まで「ふるさと子ども交流事業」（小学五、六年生一五名、中学生二名の外、引率指導者が参加）を実施し、東京端野会の会員皆さんとの交流のほか、会員の方のご配慮により、神宮球場でのプロ野球観戦など有意義な研修をさせていただきました。

また、事務局では、会員の確保と連絡体制を整備し、会員相互の扶助、教育活動に力を注ぎました。

なお、昭和五七（一九八二）年から「東京端野会」を「在京端野会」に改称し現在に至っています。会場についても、昭和六二（一九八七）年度から富塚喜一氏のご配慮により「新宿ワシントンホテル」が定番の会場となり今日に至っています。

ちなみに、昭和六三（一九八七）年度にまとめた会員名簿による役員の方々及び会員の現況は次の通りです。

### ・役員の方々

会長	平田英夫氏（三区出身）
副会長	浅利寛氏（端野出身）
	升川洋栄氏（一区出身）
	富塚喜一氏（三区出身）
事務局長	升川洋栄氏
幹事	富塚喜一氏
	中沢和宏氏（端野出身）
	日置隆行氏（一区出身）

・事務局の場所は、東京都港区芝公園 株式会社イートヨーカ堂人事部

### ・会員の状況

端野地区	一八名	一区地区	一九名
二区地区	二五名	三区地区	二八名
川向地区	一〇名	協和地区	一七名
緋牛内地区	一五名	忠志地区	五名
豊実地区	三名	北登地区	三五名
その他	七名	合計	一八二名



五十周年を迎えた在京端野会の様子

## ○在京端野会が

### 結成五十周年を迎える

在京端野会（東京端野会）が結成され五十周年を迎えた平成二十九（二〇一七）年六月二日、新宿ワシントンホテルを会場として、会員四〇名の方々が出席し、北見市からは辻直孝市長、藤田正輝端野自治区長、端野自治区選出の市議会議員の外、端野町民の方々、天谷直純さっぽろ端野会会長、東京北見会会長、東京常呂会会長など一七名の来賓を迎え盛大に開催されました。

会場には「ふるさとコーナー」が設置され、「端野自治区お知らせ版」「端野地域振興だより」や市勢要覧等、端野の歴史や現況を知ることが出来る資料が展示されました。

また、端野の風景のDVDの映写、BGMで会場内に端野音頭を流し、故郷で経験した「餅つき」をしたほか、事務局長の中沢透氏のご縁で歌手葵ひろ子さんの友情出演があるなど、楽しく有意義な在京端野会となりました。



ふるさとコーナー